

令和 5年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

会議	部会名	第 1 回 こどもサービス連絡会	参加者数	26 人	会場	伊那市まちづくりセンターふれあいー な3階第1、2研修室
	日時	令和 5 年 7 月 13 日 (木) 13:30 ~ 15:15				
主 テ ー マ	<p>1 部会体制の説明 2 今年度の活動計画 3 障がい児の福祉サービスに関わる課題の共有 4 意見交換</p>					
	<p>1 部会体制の説明 ・部会再編により、こども・若者部会が発足した。部会には、実務者からなる3つの連絡会がある。この連絡会もその一つとして、連携を取りながら活動していく。</p> <p>2 今年度の活動計画 ・活動計画及び取組管理シートを参照し説明</p> <p>3 障がい児の福祉サービス等に関わる課題の共有 【R5 第1回こども・若者部会に出された課題の共有と意見交換】 ①外国籍の子どもの増加に伴うコミュニケーションについて ・通訳を頼める人材の費用等を明確にし社会資源として視える形に出来るといい。(緊急時に備える) ②新規事業所と行政・学校などの連携 ③放デイ・児童発達支援事業所における保護者支援 ペアレントトレーニングや母子通を通して支援している。働いている親も多く、保護者支援の継続が課題。 ④養護学校への通学に関する移動の保証 ⑤移動支援の個別事情に応じた支給決定 ⑥障がい児ショートステイの報酬単価 ⑦きょうだい児支援について</p> <p>【サービス連絡会参加確認時のご意見等について共有・意見交換】 ①普通学校との連携についてどのようにしているか(放デイ) ・連絡帳でやり取りしている ②保育園への移行について、どの段階や時期がいいか(児発) ③学校へ行けない子への対応について(放デイ) ・相談支援専門員から学校へ行けないが放デイを利用できないか相談があった。 ・学校へは行けないが、放デイへは来れる児もいた。 ・放課後等デイサービスの役割として、不登校に児への支援でどこまで対応してよいのか、フリースクールと連携して登校できた事例などが出された。 ④保育所等訪問支援の利用回数について聞きたい ・2回～8回/月 程度 が多かった。 ⑤家族支援について、どこまで療育施設のサービスなのか(児発) ⑥家族の役割をどのように担ってもらうか(児発) ⑦保育園との平行通が増えているがどのように保育園と効率よく連携するか(児発)</p>					
ま と め	<p>支援者が日頃感じている疑問や聞きたいこと等を共有することが出来た。課題は多岐にわたるため、課題整理のためにアンケートを実施予定。結果を踏まえ次回扱うテーマなどを決めていく。</p>					
次 回	<p>11月9日(木) 15:30～17:30</p>					